

## 令和3年度 第1回県北広域振興圏地域運営委員会議（6月29日（火）開催）における意見・要望に対する対応状況

発言者	No.	御意見・御提言	担当	対応状況・対応方針
川代 一枝委員	1	次の世代の方に興味を持っていただくことが難しい課題だと感じている。世代を超えて若い方に発信するというカシオペアFMの話を聞いて、そういうことをもつこの地域で40代、50代、私は60代ですけど、70代、80代の方とラジオのような情報を経て交流できることがひとつあるのではないかな。	二戸地域振興センター	<p>県北局では、令和3年度からカシオペアFMで、カシオペア連邦を牽引してきた方（50代から60代）と、これからのカシオペア連邦を牽引する方（20代から30代）とのトーク番組を放送することで、これまでのカシオペア連邦の振り返りや、今後の地域づくりを地域全体で考える機会を創出しています。</p> <p>今後も関係機関と連携を図りながら、ラジオを活用した情報発信や様々な世代の交流拡大に努めていきます。</p>
中田 委員	2	カシオペア連邦建国30周年記念事業について、多くの人に関わっていただけるように工夫していただきたい。どうしてもやっぱり一部の人間だけ、参加した人だけで終わってしまうというのが多々あるような気がするので、一人でも多くの方が関わって、自分たちの住んでいる街を見直していただければと思う。	二戸地域振興センター	<p>カシオペア連邦建国30周年記念事業については、12月に記念式典を開催する予定としていたところですが、新型コロナウイルス感染症拡大防止等の観点から式典を中止することといたしました。</p> <p>現在、これまでカシオペア連邦を盛り上げていただいていた関係団体（カシオペア青年会議所、カシオペアFM、カシオペア連邦地域づくりサポーターズ）と共に、代替事業の実施について検討しているところです。</p> <p>「30周年にわたる地域づくり活動や地域振興の取組の成果を振り返るとともに、これからの地域づくりや更なる地域活性化に向け活動していく契機とする」という事業目的を達成できるよう、検討を進めて参ります。</p>

発言者	No.	御意見・御提言	担当	対応状況・対応方針
中田委員	3	御所野の世界遺産登録で、県北が再度注目され始めたと思う。点で見るといろんな魅力や良いところはいっぱいあるが、どうしてもいままで線が繋がってこなかった部分がある気がするので、是非こういう機会を有効に使って、それを線で繋いで、そして形あるような面にしていくことで、再度県北地方が光り輝くのではないか。	産業振興室	<p>従来から、県北地域は、物見遊山的な観光資源が少ない状況にありますが、近年の旅行トレンドは物見遊山的な団体旅行から、「目的・テーマ」を志向する個人旅行にシフトしつつあります。</p> <p>県北局では、旅行者の旅行形態の変化も踏まえ、今一度、県北地域にある観光素材について掘り起こしを行い、共通する特徴を持った観光素材を結び付け、新たな観光ルートの構築に向けて、市町村や観光関係者を構成員とした研究会を開催します。</p> <p>また、新たな観光ルートの構築に繋げる取組として、二戸市、八戸市、久慈市が中心となって組織しているナニヤトヤラ連邦会議と連携した南部氏ゆかりのスポットを巡るスタンプラリー※や、八戸・鹿角地域と連携した縄文関連施設を巡るスタンプラリー※を、8月から11月にかけて実施したところです。</p> <p>※岩手緊急事態宣言期間中は休止。</p>
野田委員	4	介護人材の確保に向けて、国際化を進めている。やはり外国から来た方が孤立しないような取組をしていただきたい。業種ごとにやるのも1つだが、いろんな団体が横断的にできるような何か集まりの場を県北地域でもてると、他の地域との差別化にも繋がるのではないか。また、外国の方が病院にかかったときに、自分の身体の症状を	企画推進課	<p>県では、東日本大震災津波以降、外国人県民が増加している状況を踏まえ、県、市町村及び地域国際化協会等が一堂に会する「地域国際化推進会議」を広域圏ごとに開催し、情報共有を行いながら地域の国際化に取り組んでいるところです。</p> <p>また、(公財)岩手県国際交流協会と連携し、外国人労働者と地域住民との交流行事を行っているほか、令和2年度からは医療現場における電話通訳システムの試</p>

発言者	No.	御意見・御提言	担当	対応状況・対応方針
		伝えるのが難しいという現実もある。母国語でその方の言語で相談できる電話の窓口、又は直接通訳の方に繋がる何かホットラインのようなものがあると良いのではないかな。		<p>行導入を促進しています。</p> <p>引き続き関係機関と連携しながら、外国人県民が安心して生活できる環境づくりに取り組んでいきたいと考えています。</p>
藤織委員	5	例えば京都アニメーションのように、岩手なんとかって付くような、この仕事に就きたいから岩手に行きたいという人を増やしていくべきではないか。いろんな仕事があるが、岩手は他の地域と何が違うのか、突出する何か魅力がないと、なかなか岩手に住もうとはならないのではないかな。	産業振興室	<p>岩手県、なかでも県北地域は、短角牛、木炭、漆など、全国一の生産量、出荷量を誇る一大産地となっています。</p> <p>特にも、漆は、文化庁が文化財建造物の修理に国産漆を使用する方針を示したことから、今後さらに需要拡大が見込まれるところですが、一方で、人口減少や少子高齢化が進み、漆関連産業の後継者不足が深刻な課題となっています。</p> <p>他の産業においても、次代を担う人材の確保・育成は課題となっておりますので、引き続き、本県ならではの産業を将来性のある産業として全国にPRし、人材を確保するための取組を進めてまいります。</p>
藤織委員	6	三陸の沿岸道路がせつかく開通したので、例えば久慈市にいても八戸の大学や、専門学校に行けるというようなスクールバスなど、交通網を生かしたものができれば、久慈市にいながら勉学にも励むことができ、就職とか定住に繋がるのではないかな。	企画推進課	<p>三陸沿岸道路の開通により時間距離が大幅に短縮され、遠方への通学や通勤の利便性の向上が期待されているところです。</p> <p>久慈市においては、同道路を活用した久慈 - 八戸間の高速バスの実証運行を実施したところであり、こうした市町村の取組とも連携しながら、県においても三陸沿岸道路を活用した積極的な取組を推進していきます。</p>

発言者	No.	御意見・御提言	担当	対応状況・対応方針
古舘 英彦委員	7	県内の3つの世界遺産について、岩手県としてはこの3つをいかにリンクさせて、全国あるいは世界に向けて発信していくかということが課せられているのではないかと。4道県としてやることもあると思うが、県内3つの世界遺産をどうアピールしていくかというのは、やはり岩手県に課せられていることなのではないか。	二戸地域 振興センター	<p>御所野遺跡を含む「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録の実現により、岩手や県北圏域が国内外から注目される絶好の機会となっています。</p> <p>県ではこれまで、「御所野遺跡」、「平泉」、「橋野鉄鉦山」の世界遺産を合わせて、本県の歴史・文化を核とした観光ルートの構築や旅行商品造成の促進、教育旅行の誘致に取り組むとともに、国内外への情報発信の強化に取り組んでいるところです。</p> <p>今後も、世界遺産等を核とした「歴史・文化」をテーマとした広域周遊や、県北圏域の優れた観光資源との組み合わせによる滞在型観光の促進を図り、市町村等と連携しながら国内外の観光客の誘客拡大や教育旅行の誘致拡大に取り組んでいきます。</p>
古舘 拓委員	8	生涯スポーツの定着や競技スポーツの魅力発信ということで、最近、軽米町では非常に小学生のバレーが強くて、卒業した生徒がインターハイの決勝で活躍していました。チーム競技は今少子化で、どこでも非常に存続が危ぶまれている状況なので、こういった有望な競技選手に手厚い補助などがあれば助かるのではないかと。	経営企画部	<p>県では、日本代表選手やその可能性をもつ選手に対し、県体育協会を通じ、各種大会や強化合宿等の遠征費などの支援をしています。また、小学生を含めたジュニア層に対する支援については、オリンピック選手を輩出するなどの優れた選手育成の実績を持つ競技団体に対し、体験教室や優秀選手を招聘した教室開催等、選手育成に係る経費の支援を行っています。</p>

発言者	No.	御意見・御提言	担当	対応状況・対応方針
古舘 拓委員	9	先日、二戸保健所に聞いて、猫の捕獲機を貸してくれないかと話したら、二戸では置いてないということで、動物病院に相談したら貸してくれた。ほかの地域の保健所だと捕獲機を貸し出しているところもあるみたいなので、そういうのを整備していただければ助かる。	保健福祉環境部	<p>当センターをはじめ県内各保健福祉環境部・センターでは、外飼猫と野良猫の厳密な見分けが難しいため、負傷等している場合を除き猫の捕獲を行っておらず、捕獲器も所有しておりません。また、上記理由による錯誤捕獲や駆除目的等の使用を防止するため、住民の方への捕獲器の貸し出しを行っておりません。</p> <p>猫の適正飼養については、飼い主に対する室内飼や繁殖制限の推進等を行うことにより、引き続き普及啓発を行ってまいります。</p>
古舘 拓委員	10	やはり自然環境と再生エネルギーの両立をもう少し考えていただきたい。今年稼働を始めた、軽米と二戸の境にある風力発電の施設もそうだが、あれだけの面積の木を切って、風車 1 台作って、これが果たして再生エネルギーの活用っていうことで合致しているのかどうか。それが本当に未来にとって良いのかということも、考えていただきたい。	企画推進課	<p>県北圏域は、太陽光や風力等、再生エネルギーの豊富なポテンシャルを有することから、その活用について検討するため、市町村及び県職員間の勉強会を定期的に開催しています。</p> <p>当地域は豊かな自然環境も併せ持っていることから、開発規制法等の必要な手続を経るのはもちろんのこと、環境との調和に十分配慮しながら、市町村と連携し、再生可能エネルギーの有効な活用について検討していきます。</p>
古舘 拓委員	11	さんりく基金について、海外での物産展に参加するとなると、全て自己経費では非常に厳しいので、旅費の方で、上手く使える補助事業を継続していただきたい。	産業振興室	<p>県北局では、通常、商談会等の情報については、メーリングリストにより御案内しております。商談会等への出展経費の助成については、さんりく基金のほか、二戸地域の事業者を対象とした「地域産業育成助成金」（対象経費の 4/5 以内、上限 20 万円）や、「物産展等出展経費助成金」（対象経費の 4/5 以内、上限 5 万円）があり</p>

発言者	No.	御意見・御提言	担当	対応状況・対応方針
				<p>ますが、全体事業費のうち、用途の大半が旅費の場合、事業効果の判断が難しく旅費に係る助成については制限せざるをえない状況にあります。よって、旅費に係る助成を手厚くすることは難しいところがありますが、新規事業に取り組む際のアドバイザー派遣等の支援のほか、県北局の取組の中で御意見をどう反映できるか検討していきたいと思ひます。</p>
谷地委員	12	<p>社員の健康管理について、取組の仕方から分からないところもたくさんあるため、職域団体みたいなどころでの勉強会をするとか、経営者に対するアドバイスをする機会を設けていただきたい。</p>	保健福祉環境部	<p>健康経営の取組促進を目的として、例年事業主・安全衛生担当者健康づくり研修会等を実施してきましたが、令和2年度及び令和3年度においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止しております。</p> <p>今後、新型コロナウイルス感染症の感染状況をみながら、職域における「こころ」と「からだ」の健康管理についての研修、事業所への出前講座等を企画し御案内したいと考えております。</p>
谷地委員	13	<p>再生可能エネルギーに関して、自分たちで生み出したお金を地域に落とすしていくという仕組みづくりをやっていかなければならない。働く場所はあるので、それをうまく作り出して、働く人たちをここに連れてくるということも、再生可能エネルギーの中では作れるのではないか。</p>	企画推進課	<p>県北圏域においては、今後多くの再生可能エネルギーの導入が見込まれているところす。</p> <p>そのため、エネルギーの地産地消や設備のメンテナンスに伴う地元雇用の創出等地域に利益が還元される仕組みづくりが重要と考えています。</p> <p>県北圏域の再生可能エネルギーの豊富なポテンシャルを地域振興に生かすため、市町村との勉強会を開催しているところであり、引き続き有効な活用方法について検討していきます。</p>

発言者	No.	御意見・御提言	担当	対応状況・対応方針
山下委員	14	<p>新しく家を建てるときの支援策として、岩手出身の人が戻ってきて建てるのか、ここに家を建てるなら支援しますとか、特に長男坊だったら支援しますとか、そこで生まれた人を戻すという考え方の中で、何か特典・特色というようなものを支援策としていただければありがたい。</p>	企画推進課	<p>県では、若い方が岩手に住むことを資金面で応援するため、U・Iターン就職者や新婚世帯向けの新生活支援として、県産木材を使用した住宅購入やリフォームへの支援など、「単身・結婚・子育てのライフステージに応じた若者への住宅支援」に総合的に取り組んでいるところです。</p> <p>また、コロナ禍において、過密な都市部の新型コロナウイルス感染症の感染拡大が著しいことなどを背景に、地方のよさが再認識され、地方創生の観点からも大きな転機を迎えていることから、引き続き市町村との連携を深めながら、移住・定住や地元定着を促進していきます。</p>